



“地域のことは地域で考えよう”

2016年4月26日

おきぎん県内景況・速報 2016年3月

一県内景況は、拡大している一

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高は前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。
生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数は下回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2016年3月分)

◎2016年3月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

3月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は雑貨や食料品などが堅調で、前年同月上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は軽乗用車需要の減少などから前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、国やその他公共的団体発注による工事減少などで前年同月を下回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

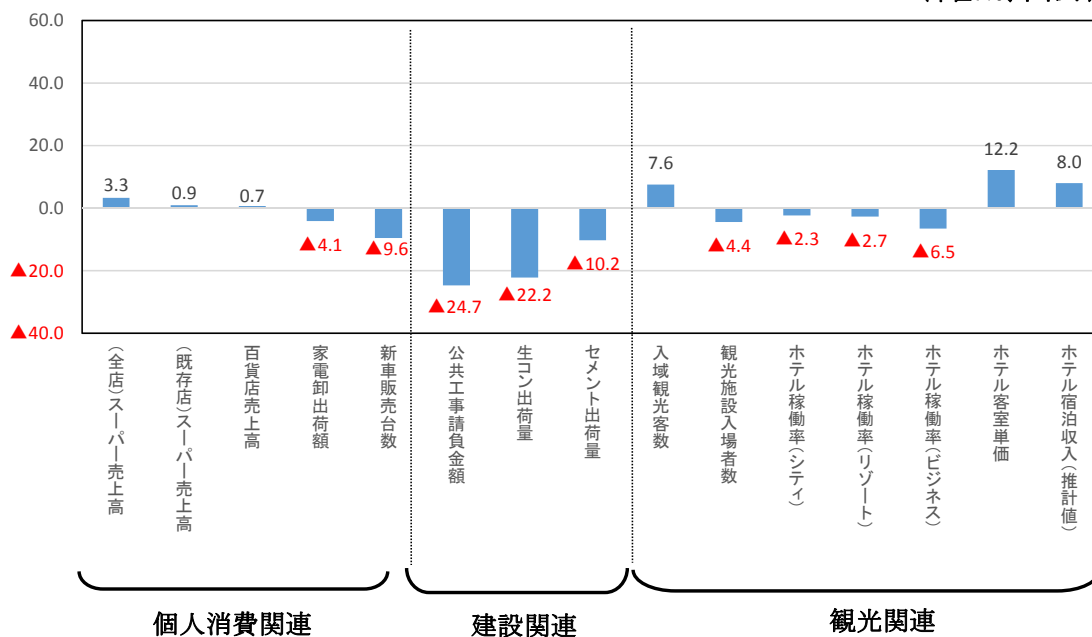
観光関連では、入域観光客数は42ヵ月連続で前年同月上回り、観光施設入場者数は前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から26ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位：%、ポイント)



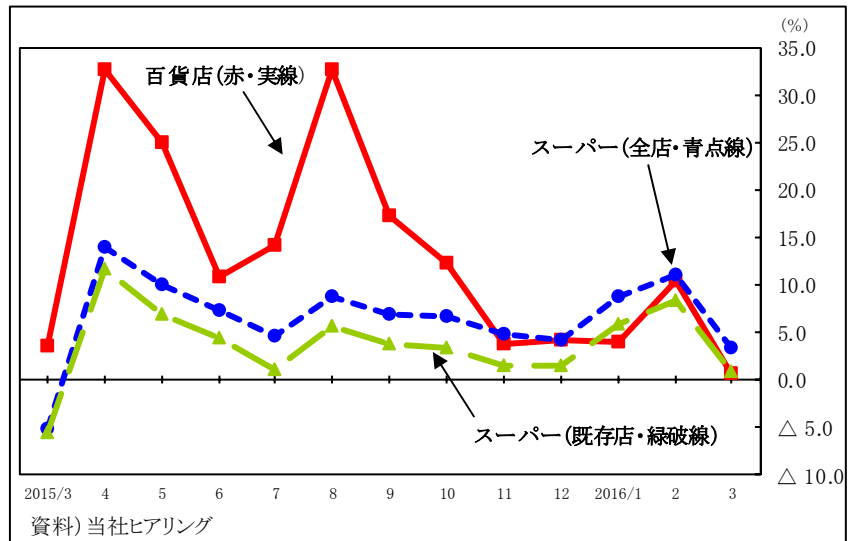


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2015/3	△ 5.1	△ 5.6	3.5
4	13.9	11.7	32.8
5	10.1	6.9	25.0
6	7.4	4.5	10.8
7	4.6	1.1	14.2
8	8.7	5.6	32.7
9	7.0	3.7	17.3
10	6.6	3.3	12.3
11	4.9	1.5	3.8
12	4.2	1.5	4.2
2016/1	8.8	5.9	4.0
2	11.1	8.3	10.5
3	3.3	0.9	0.7

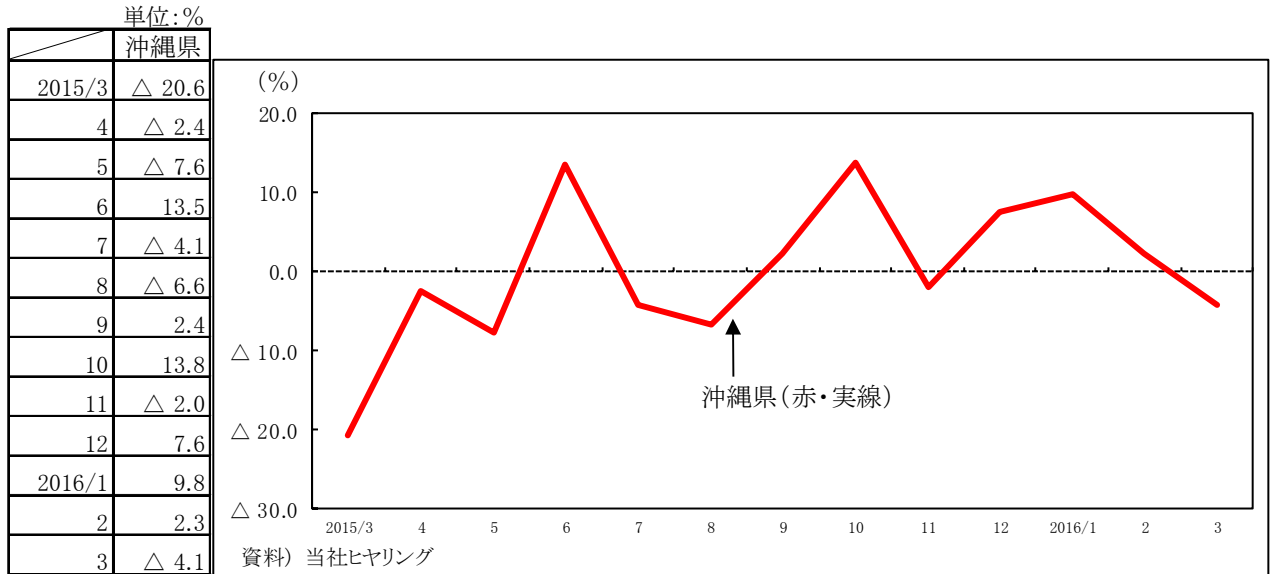


注2) スーパー売上高(既存店)については、2015年3月、4月データの誤差調整の後、修正を行なっております。本数値を参照の際には、最新のリリース情報をご覧ください。

3月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「全店ベース(前年同月比 3.3%増)」が12ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 3.6%増)」や家電を含む「家庭用品(同 5.2%増)」の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「**既存店ベース(同 0.9%増)**」は店舗改装による集客効果などから、12ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 1.9%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 0.9%増)」は季節要因(新年度、買い替え)需要の増加などから白物家電(洗濯機、冷蔵庫)やテレビの売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類)の増加などから、前年同月を上回りました。一方で、「衣料品(同 9.2%減)」は、天候不順の影響などから、春物衣料の売れ行きが伸び悩み、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、新規催事の開催や店舗改装による集客効果などから、「雑貨」や「食料品」などの売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました(同 0.7%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 4.8%減)」は、天候不順の影響や一部フロアの改装などから、主力商品である「婦人服(同 7.2%減)」の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。また、「身の回り品(同 20.5%減)」は前年に行なわれていた催事が今年未開催だったことなどから前年同月を下回りました。一方で、「食料品(同 13.2%増)」は、新規テナント出店、催事開催などによる集客効果のほか、生鮮全般の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 14.6%増)」は、継続的な国内外観光客需要により化粧品などの売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

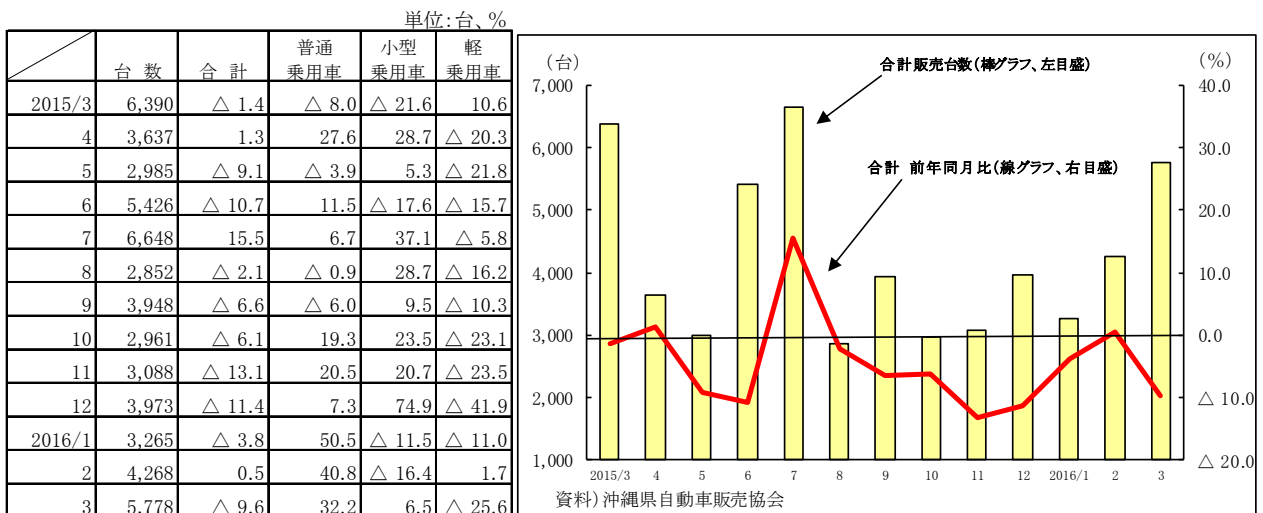
②家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより、4ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同 4.1%減)。品目別では、「テレビ(同 47.0%増)」や「冷蔵庫(同 17.4%増)」、「洗濯機(同 21.8%増)」、「エアコン(同 29.4%増)」などでは、前年に落ち込んだ反動や新型商品効果などから売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。一方で、太陽光パネル(同 43.1%減)では、新規接続中止の影響が続いていることなどから、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…軽乗用車需要の減少などから、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で5,778台(同 9.6%減)となり、軽乗用車需要の減少などから2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、前年に落ち込んだ反動やレンタカー需要の増加などから「普通乗用車(同 32.2%増)」は6ヵ月連続、「小型乗用車(同 6.5%増)」は3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。一方で、「軽乗用車(同 25.6%減)」は軽自動車税増税の影響などから2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

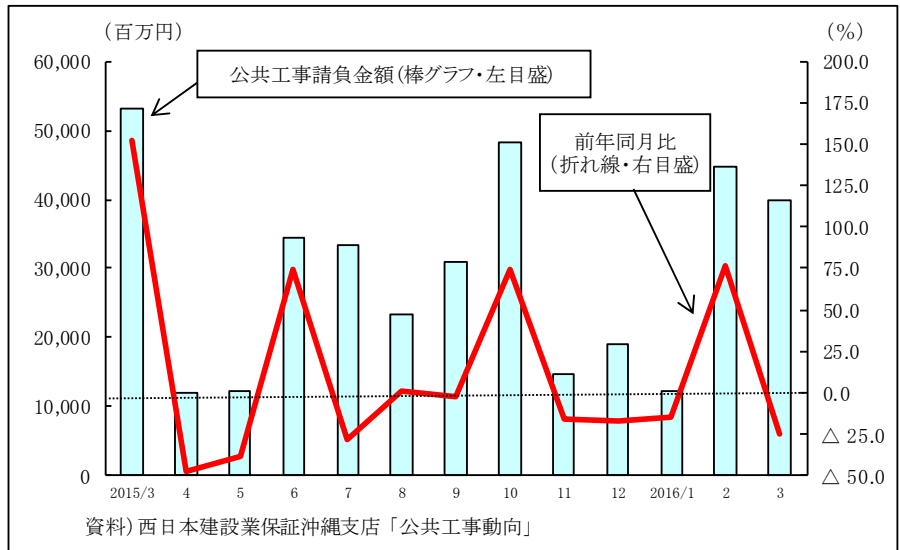


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2015/3	53,096	151.7
4	11,991	△47.8
5	12,215	△37.9
6	34,358	74.0
7	33,472	△28.3
8	23,352	0.8
9	30,835	△2.1
10	48,301	74.7
11	14,816	△15.4
12	19,114	△16.8
2016/1	12,202	△15.0
2	44,788	76.4
3	39,972	△24.7

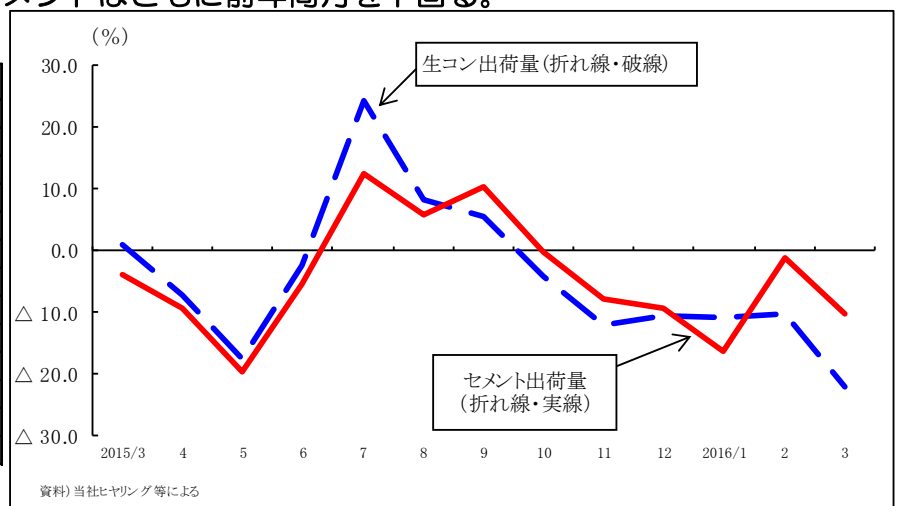


3月の公共工事請負金額は、前年同月比24.7%減の399億7,200万円となりました(2ヵ月ぶり減)。発注者別でみると、「その他の公共的な団体(同173.2%増)」は浦添市での看護学校関連工事などの大型工事で前年同月を上回りました。一方、「国(同29.9%減)」は、前年あった沖縄防衛局の与那国駐屯地関連工事など、「沖縄県(同21.9%減)」は宜野湾市浄化センター関連工事など、「市町村(同35.2%減)」は市部での市営住宅関連工事などの大型工事の反動などで下回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

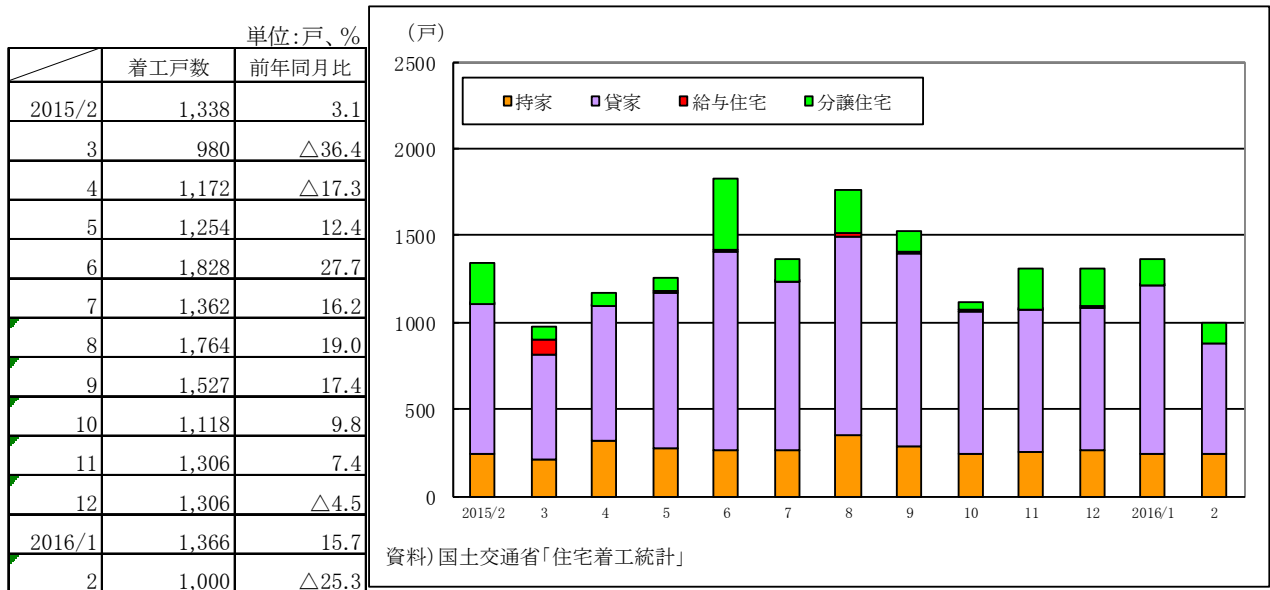
	生コン	セメント
2015/3	0.9	△3.9
4	△7.2	△9.3
5	△17.6	△19.6
6	△2.3	△5.3
7	24.3	12.4
8	8.4	5.9
9	5.5	10.4
10	△4.2	△0.2
11	△12.2	△7.7
12	△10.5	△9.4
2016/1	△11.0	△16.3
2	△10.2	△1.2
3	△22.2	△10.2



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は22.2%減少し6ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より28.0%下回り、民間工事向け出荷も18.3%下回りました。**セメント**出荷量も10.2%減と6ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(2月)…着工戸数は前年同月を下回る。



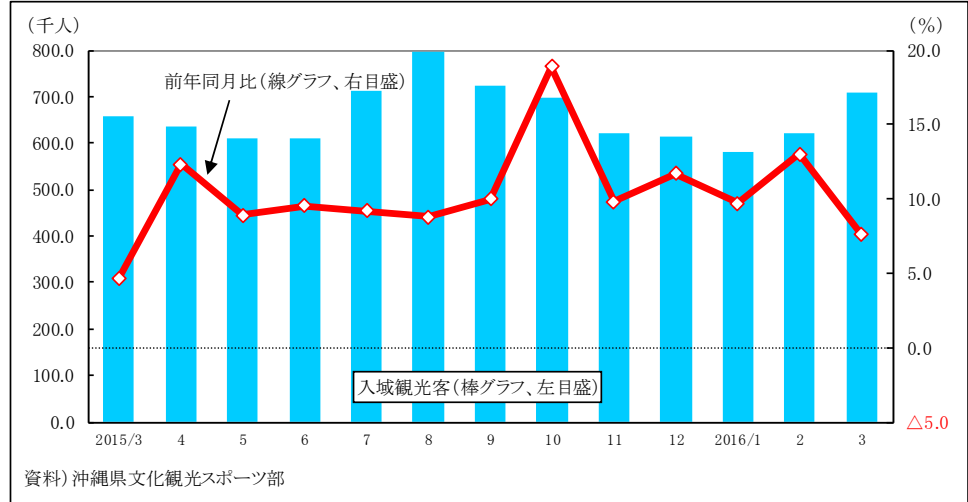
新設住宅着工戸数(2月)は、全体で前年同月比25.3%減の1,000戸と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同25.3%減)」や「持家(同1.2%減)」に加えて、「分譲住宅(同47.8%減)」などが前年同月を下回りました。



■観光関連: (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計) …42ヵ月連続で前年同月を上回る。

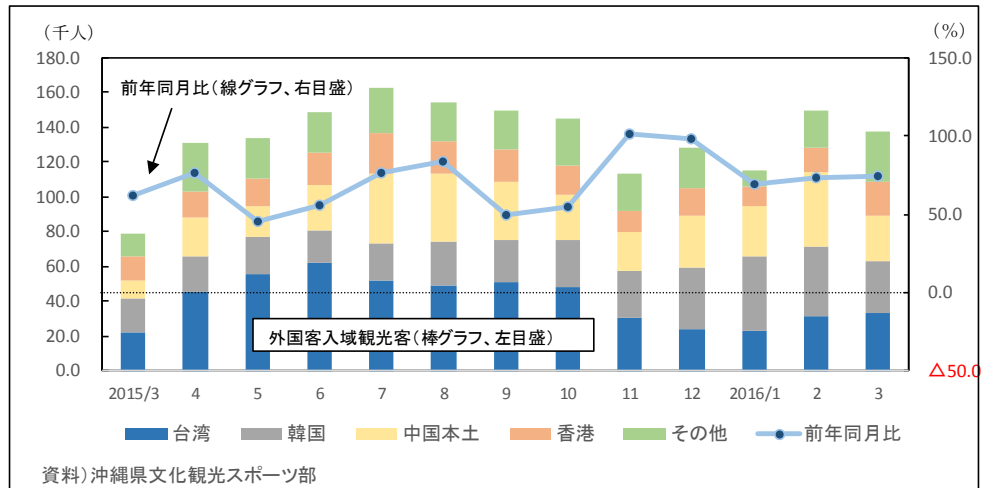
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/3	659.0	4.6
4	635.4	12.3
5	611.4	8.9
6	610.0	9.5
7	714.0	9.2
8	797.5	8.8
9	724.7	10.0
10	696.8	18.9
11	619.6	9.8
12	613.6	11.7
2016/1	581.6	9.7
2	622.5	13.0
3	709.2	7.6



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…32ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/3	79.0	62.2
4	130.6	76.7
5	133.7	45.8
6	149.2	56.2
7	163.0	76.6
8	154.7	83.7
9	149.6	49.7
10	145.1	54.7
11	113.4	101.1
12	128.3	98.3
2016/1	114.9	69.2
2	149.9	72.9
3	137.9	74.6



※外国客は乗務員等を含む

3月の入域観光客数は、50,200人多い709,200人(前年同月比7.6%増)となり、42ヵ月連続で前年同月を上回りました。3月としては過去最高、2015年度ベースでも793万6,300人(前年度比10.7%増)となり、過去最高を更新しました。

内訳をみると、「国内客(同1.5%減)」は571,300人と、春休みの旅行需要などにより関西、福岡、名古屋方面では好調さがみられたものの、東京方面において一部航空会社の提供座席数が減少したことなどから、4ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

他方、「外国客(同74.6%増)」は、137,900人と32ヵ月連続で前年同月を上回りました。各方面において、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。

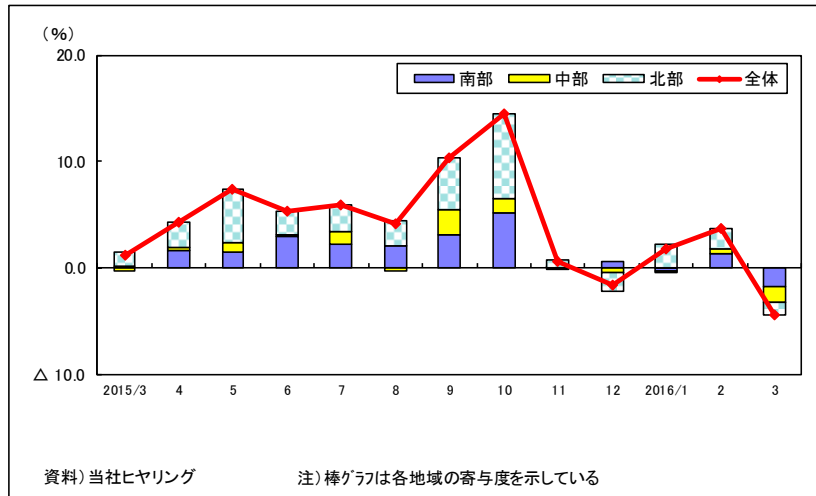
「台湾(同50.0%増)」「韓国(同54.5%増)」「中国本土(同149.5%増=約2.5倍)」「香港(同42.0%増)」

※乗務員等を除く2016年3月実績=全体693,000人(同6.0%増)、外国客121,700人(同65.4%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…3ヵ月ぶりに前年同月を下回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2015/3	1.1	0.2	△ 2.2	2.9
4	4.3	4.2	2.1	5.1
5	7.3	3.4	7.0	10.9
6	5.3	7.4	1.8	4.3
7	6.0	6.4	10.1	4.8
8	4.1	6.3	△ 2.7	4.3
9	10.3	8.7	21.4	9.0
10	14.4	12.7	9.8	17.2
11	0.6	△ 0.4	0.3	1.7
12	△ 1.6	1.4	△ 3.6	△ 3.8
2016/1	1.8	△ 0.7	△ 1.4	4.6
2	3.7	3.3	3.5	4.0
3	△ 4.4	△ 4.6	△ 11.4	△ 2.2

*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より4.4%減少(3ヵ月ぶり)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同4.6%減と2ヵ月ぶり、中部は同11.4%減と2ヵ月ぶり、北部は同2.2%減と3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

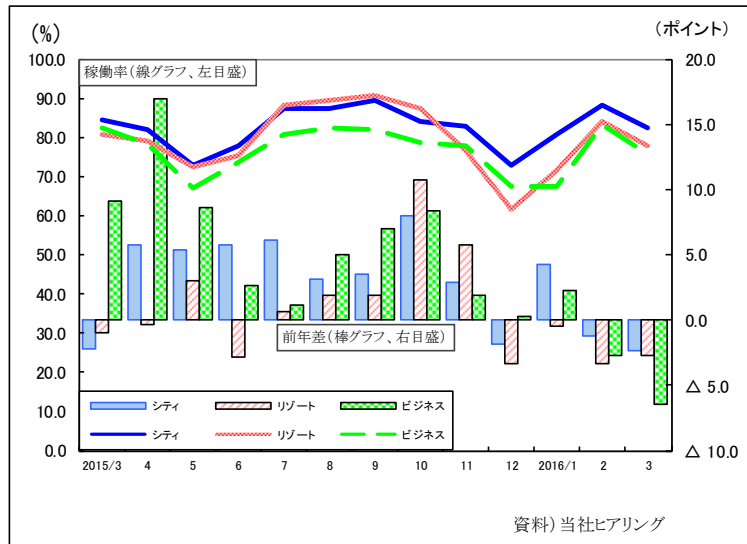
③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2015/3	84.6	80.6	82.4	△ 2.2	△ 1.0	9.1
4	82.1	79.1	78.1	5.8	△ 0.4	16.9
5	72.9	72.4	67.1	5.4	3.0	8.6
6	78.0	75.3	73.6	5.8	△ 2.9	2.6
7	87.2	88.3	80.6	6.1	0.6	1.1
8	87.5	89.4	82.2	3.1	1.9	5.0
9	89.3	90.7	82.1	3.5	1.9	7.0
10	83.9	87.3	78.6	8.0	10.7	8.4
11	82.9	76.7	77.6	2.9	5.7	1.9
12	72.8	61.5	67.4	△ 1.8	△ 3.3	0.3
2016/1	80.5	71.5	67.3	4.2	△ 0.5	2.2
2	88.3	83.9	83.4	△ 1.2	△ 3.3	△ 2.7
3	82.3	77.9	75.9	△ 2.3	△ 2.7	△ 6.5

注)シティ9ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

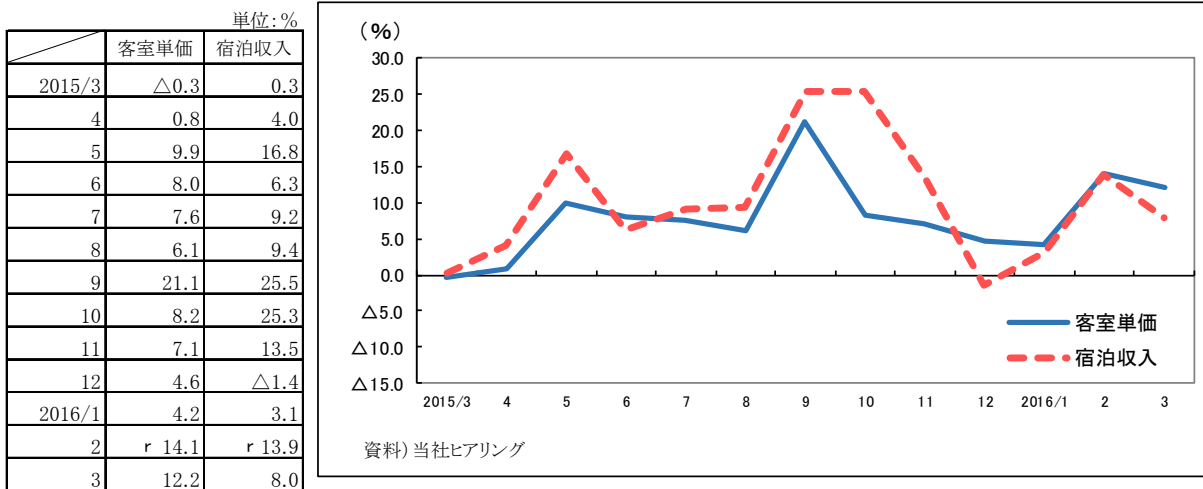
注)2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



県内ホテル稼働率は、シティホテルが82.3%と2.3ポイント減少(2ヵ月連続)、リゾートホテルが77.9%と2.7ポイント減少(4ヵ月連続)、ビジネスホテルが75.9%と6.5ポイント減少(2ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。



※対象施設数:28施設(シティ9、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は28施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

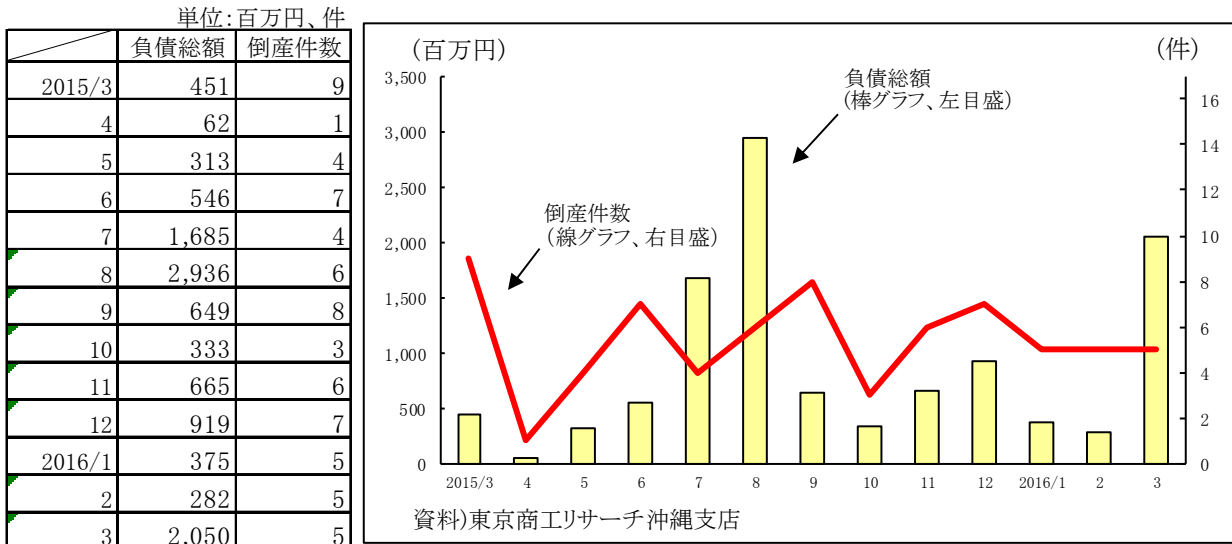
※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 12.2%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**も同8.0%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

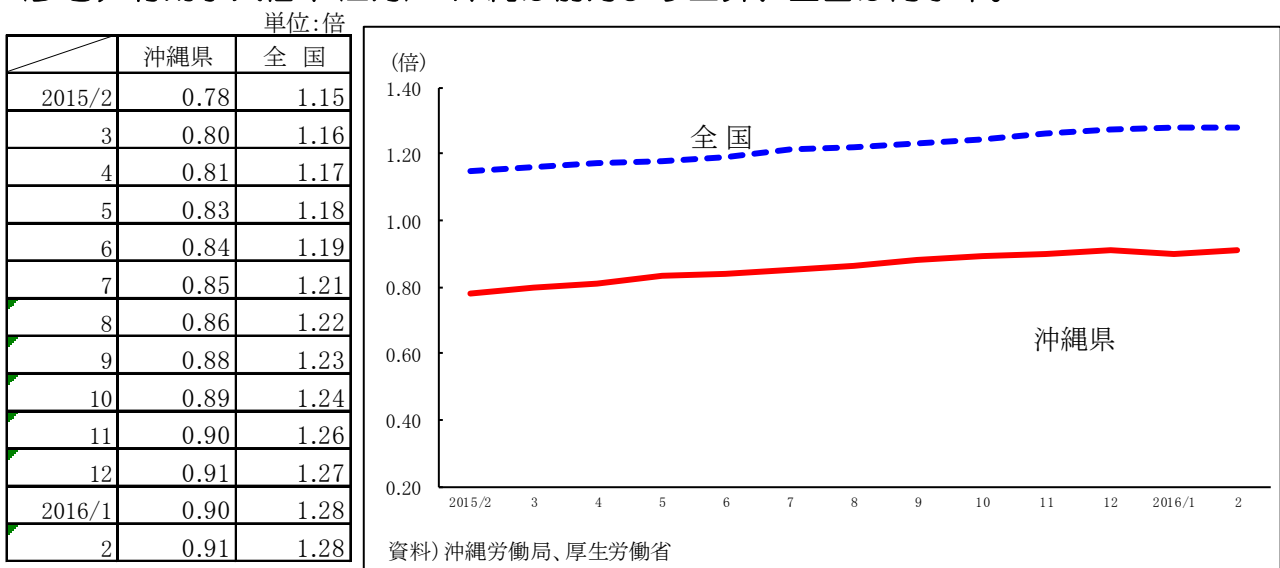


3月の**企業倒産件数**は、5件(うち、10億円以上の大型倒産が1件、1億円以上の大口倒産は2件)発生し前年同月より4件少なく、負債総額は20億5,000万円で前年同月より約4.5倍に増加しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考) 有効求人倍率(2月)…沖縄は前月より上昇、全国は同水準。



注) 季節調整済

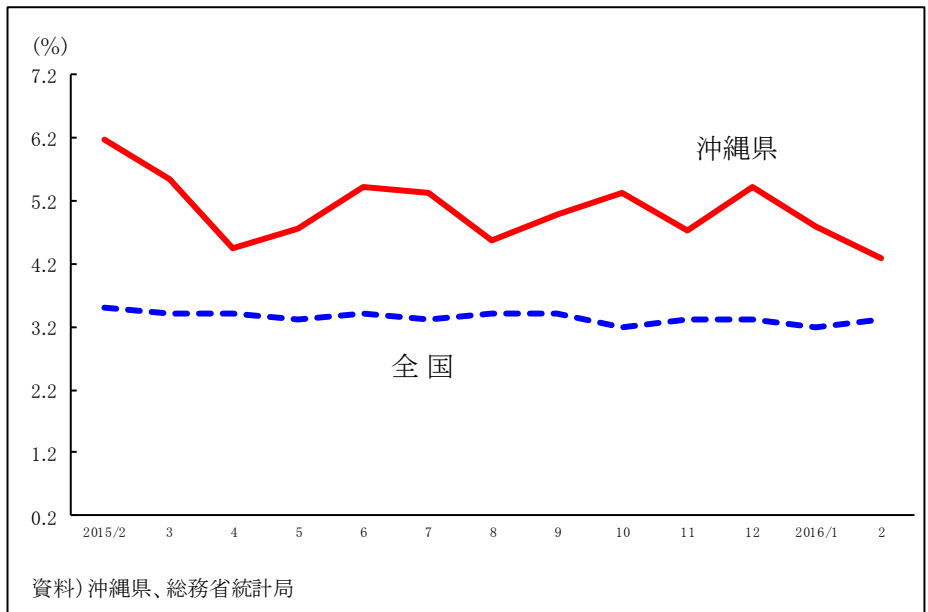
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

2月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比6.7%増の26,006人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比4.7%増の28,520人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.91倍となり前月より0.01ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(2月)…前月より下落。

		単位:倍	
	沖縄県	全 国	
2015/2	6.2	3.5	
3	5.5	3.4	
4	4.4	3.4	
5	4.8	3.3	
6	5.4	3.4	
7	5.3	3.3	
8	4.6	3.4	
9	5.0	3.4	
10	5.3	3.2	
11	4.7	3.3	
12	5.4	3.3	
2016/1	4.8	3.2	
2	4.3	3.3	

注) 季節調整済



2月の完全失業率(季節調整値)は、4.3%となり前月より0.5ポイント下落しました。